

## スポーツ推薦入学試験、附属スポーツ推薦入学試験

---

### 1. 実施状況

#### 本入学試験の目的

「スポーツ推薦（A～C推薦）」は、スポーツの奨励を目的として高等学校在学中において、スポーツに優れた実績をもつ者を対象とし、特別な選抜方法により実施する入学試験です。スポーツに優れた実績をもつ学生を受け入れることで、本学部の一層の活性化を図ることを目的としています。

### 2. 試験内容・出題の意図

#### (1) 書類審査

調査書、大会成績証明書、推薦書等で出願資格を充足するかを確認したうえで、志望理由書により、本学部への入学意欲や将来のキャリアの見通しや目標について、しっかり自分の意見が述べられているかを確認しました。

#### (2) 小論文（※B推薦、C推薦対象）

読売新聞東京朝刊（2022年6月22日付）『[論点スペシャル] スポーツ賭博 どう見る』から、スポーツベッティング解禁を目指す経済産業省の素案に関する識者らの意見等を出題し、60分間で設問への解答を記述するよう求めました。

設問内容は論文内容を正確に読み解く能力を試すもので、識者らの意見を「容認論」と「慎重論」に整理した上で、設問の条件に沿って解答することが要求されました。また、学業面とスポーツ活動面でのあるべき規範意識を記述する問題では、大学での相応しい行動をどの程度具体的に想像できるかも問われました。

#### (3) 口頭試問

約15分間の口頭試問を行いました。2名の面接担当教員が1名の受験生に対して、事前に提出された志望理由書などにより、本学部への入学意欲やアドミッション・ポリシーに叶う者かどうかを確認しています。

### 3. 評価のポイント

#### (1) 小論文（※B推薦、C推薦対象）

小論文試験では、設問文で提示した条件に合わせて論文の内容を整理することを求めました。論文の文章を正確に読み取ることができていること、設問の求める条件をきちんと踏まえて自身の意見を述べることができていること、指定された文字数の中で重要なポイントを漏らさず、簡潔に整理・表現できていることが評価のポイントでした。規範意識を記述する問題では、論文の内容を踏まえて受験生自身の意見を主張することを求め、自らの考えを、論理立てて説得力をもって提示することができているかどうかを審査しました。

## (2) 口頭試問

口頭試問での評価の主なポイントは以下のとおりでした。

- ・自分の言葉でしっかり説明できているかどうか。
- ・なぜ本学部を目指そうとしたのか、それが自身の学習とどのように関連するのかどうか。
- ・入学後、何をどのように学びたいのか、学業の目標を示すことができているかどうか。
- ・自身のキャリアプランを明確に持っているかどうか。
- ・自身の強みをしっかりアピールできるかどうか。

## 4. 解答状況

### 小論文（※B 推薦、C 推薦対象）

小論文試験で出題した問1と問2は、多くの受験者がある程度の正答に達していました。問3では、自らの考えを、説得力を持って論理的に展開することができているかどうかで評価に差が生まれました。なお、記述試験では判読できない極端なくせ字や不正確な漢字は減点対象となります。また字数指定がある場合、字数不足や字数オーバーも減点対象になるので注意してください。

## 5. 次年度の受験生へのアドバイス

小論文については、専門知識を問うような出題は見込んでいませんが、文章を読んで、自分なりに要約する力、そしてそれを踏まえて、自分の意見をしっかりアウトプットできる力を養っていただきたいと考えています。この力は、入学後も必ず必要になるものですので、トレーニングを積んでいただくことを期待します。

口頭試問については、覚えた内容を棒読みするのはなく、自分の言葉で、なぜ近畿大学で学ぶことを志望するのか、将来の目標のためにどう進んでいきたいのか、これらを自分の中で組み立てて、そこから派生するであろう質問を想像しながら準備していただくことが良いだろうと思います。

また、スポーツ推薦であっても、経営学部での学びが最優先であることを理解して、対策することが大切です。